

## 自然科学研究科 附属教育研究高度化センターの概要

### ○設置の目的とセンターのミッション

自然科学研究科の教育研究の高度化を図るための活動を、全学組織等との連携、協働の下、行います。そのために、研究科の教育プログラムの企画、検証、改善が継続的に行われるよう、関連する事業や活動を支援します。

#### 【センターの構成と業務】（次頁の組織図を参照）

教育研究高度化センターには3部門が設置され、各部門は互いに強固な連携を図りながら、一致協力してセンターの目的を達成するための活動を展開します。部門とその業務の内容は以下の通りです。ただし、業務内容は固定されるものではなく、状況に応じて適宜見直しを図ります。

#### (1) 教育プログラム企画・検証・改善部門

教育プログラムの企画・検証・改善に関する業務を担当します。

例えば、学習・研究環境に関するアンケート調査の実施とその結果の教育プログラムへの還元や提言等があります。

#### (2) 国際化推進部門

国際化及び高度化の推進のための教育プログラムの構築と展開に関する業務を担当します。

例えば、留学生教育（学習支援、学生相談、英語・日本語教育の推進、学生交流会開催、等）に関すること、国際交流事業の推進（交流協定、文部科学省やJICA事業、等により来日する留学生の受入れ体制の充実）に関すること、等があります。

#### (3) 実践型教育研究部門

企業や研究機関等での実践型教育研究の推進に関する業務を担当します。

例えば、博士前期（修士）・後期（博士）課程学生に対するキャリア教育実施（専任教員、専門職員、PhDリクルート室が担当）の支援、大学院修了後の進路開拓（県内、県外、海外）に係る事業への協力、PhDリクルート室が実施する博士課程学生を対象とした進路開拓事業への支援や協力（研究科開講科目の履修、マッチングイベントやキャリアマネジメントセミナーへの参加、等）、等があります。

